

I 調査の概要

1 目的

性別にとらわれることなく、一人の個人としていきいきと暮らせるような「男女共同参画社会」の実現に向けて、山口市の男女を対象に、役割意識や日常の生活などについて調査し、今後の男女共同参画施策を効果的に推進するための検討資料にすることを目的とする。

2 調査内容

(1) 男女平等の意識について

- ・「男女共同参画社会」の認知度
- ・「男は仕事、女は家庭」という考え方
- ・性別による不快感
- ・分野別男女平等感
- ・分野別固定的性別役割分担意識
- ・男女が平等になるために重要なこと

(2) 仕事と生活の調和について

- ・「ワーク・ライフ・バランス」の認知度
- ・家事等の分担
- ・介護の担当
- ・男性の家事、育児、介護や地域・社会活動への参画の考え方
- ・男性の家事、育児、介護や地域・社会活動への参画のために必要なこと
- ・男性による仕事と育児・介護の両立支援制度の活用
- ・男性による育児休業・介護休業・子の看護休暇の取得が低い理由

(3) 就労について

- ・仕事をしている理由
- ・就労希望の有無
- ・就労しない理由
- ・女性が職業を持つことに対する意識
- ・職場における男女格差

(4) 女性活躍の推進について

- ・女性が活躍できる職場環境のために必要なこと
- ・家族や社会等の環境整備において必要なこと
- ・政策や方針の決定過程に女性の参画が少ない理由

(5) DV（ドメスティック・バイオレンス）について

- ・「DV」の認知度
- ・暴力に対する意識
- ・配偶者等から暴力を受けた経験の有無
- ・DVに関する相談窓口の認知度

- (6) 性の多様性について
 - ・「LGBT」の認知度
- (7) 男女共同参画推進のために必要な取組みについて
 - ・行政に望む施策
 - ・「山口市男女共同参画センター」の認知度

3 調査設計

- (1) 調査対象者：18歳以上の男女 2,000人
 (参考) 平成28年調査：18歳以上の男女 2,000人
- (2) 抽出方法：無作為抽出法
- (3) 調査方法：調査票を郵送し、文書回答またはWEB回答
- (4) 調査期間：令和3年9月14日～10月15日

4 回収結果

A. 発送総数	2,000人
B. 転出、記入不能などによる事故表	5人
C. 調査対象 (A-B)	1,995人
D. 回収数 (回収率40.6%)	811人
文書回答数	673人
WEB回答数	138人
E. 有効回答	811人
F. 有効回答率	40.7%

5 調査結果の見方

- (1) 調査結果は、各問の有効回答数 (図ではnで表示) に対する百分率 (%) で表示した。
- (2) 百分率 (%) は、小数点以下第2位を四捨五入して算出したため、合計が100%とならない場合がある。
- (3) 集計表においては、性別、年代等属性の不明なもの数値は除いてあるため、属性毎の合計と全体の合計が一致しない。
- (4) 図表化するにあたり、選択肢の文字数が多いものは簡略化している。
- (5) 本報告書では、経年比較を行っており、「H28」とは平成28年度に実施した調査を指す。